

日本学術会議シンポジウム 一般公開

グリーン・イノベーション実現に向けての 材料研究課題と展望

主催：日本学術会議 材料工学委員会、総合工学委員会、機械工学委員会、土木工学・建築学委員会、化学委員会合同
グリーン・イノベーションの材料分科会 共催：材料協議会、材料戦略委員会

日時

平成 23 年 6 月 1 日(水)

13 時 30 分～17 時 30 分（開場 13 時）

会場

日本学術会議 講堂

開催趣旨

第 4 期科学基本計画におけるグリーン・イノベーションを実現するための材料における課題について、材料を作る側、使う側双方の視点で、関連する科学技術者が意見を交わして、グリーン・イノベーションのためのボトルネックとなる材料課題を抽出する。同時に、国民・社会に材料の重要性をアピールし、若手人材育成に結びつけ、今後の指針を得るために、本シンポジウムを開催する。

開会の辞

日本学術会議グリーン・イノベーションの材料分科会 委員長

大阪大学 名誉教授（日本学術会議 会員）馬越 佑吉

講演

13:45-14:15 金属資源戦略とそのボトルネック

東北大学多元物質科学研究所 教授（日本学術会議 連携会員）中村 崇

14:15-14:45 エネルギー供給技術の展望と課題

東京大学生産技術研究所 特任教授 金子 祥三

14:45-15:15 社会基盤のグリーン化：材料とシステムをどう繋ぐか

東京大学生産技術研究所 所長・教授（日本学術会議 連携会員）野城 智也

15:15-15:45 21 世紀の化学技術戦略：グリーンケミストリーの展望と課題

日本化学連合会 会長、東京大学 名誉教授（日本学術会議 連携会員）御園生 誠

15:45-16:15 省エネルギーの展望とそのボトルネック

東京大学大学院工学系研究科 教授（日本学術会議 連携会員）足立 芳寛

（休憩）

パネル討論 グローバル視点での日本がとるべき長期戦略－

16:30-17:15 進行役：物質・材料研究機構 中核機能部門長、ナノ材料科学環境拠点マネージャー

（日本学術会議 連携会員）長井 寿

欧米との違い、アジアでのプレゼンスを念頭に置き、日本におけるグリーン・イノベーション実現のための拠点形成と人材育成策を探る。

パネリスト：芝浦工業大学 学長（日本学術会議 会員）柘植 綾夫

科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー 金子 直哉

トヨタ自動車株式会社 電池研究部長 射場 英紀

文部科学省 研究開発局 環境エネルギー課 環境科学技術推進官 福井 俊英

閉会の辞： 東京大学 副学長・理事（日本学術会議 会員）前田 正史

参加要領：・申込みフォーム <http://maedam.iis.u-tokyo.ac.jp/sympo1.html> もしくは

・ファックスにて「参加申込書」へご明記の上、お申込み下さい

問合せ先：東京大学生産技術研究所 前田研究室（担当：高田）電話：03-5452-6297、e-mail：secretar@iis.u-tokyo.ac.jp